

令和4年度
事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	06	01	104680	競技スポーツ支援事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	04 スポーツの振興		
	施策	02	競技スポーツの推進				
目的	競技レベルや指導レベルの向上を図るため、大会出場者の支援やスポーツ大会の開催支援、選手や指導者の養成を行う。						
対象	市民、花巻市体育協会、実行委員会等						
意図	競技力・指導力の向上を図る。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○花巻市スポーツ競技大会出場補助金の交付 9,371千円 ○花巻市体育協会等への各種補助金等の交付 3,723千円 ○県民体育大会出場事業、競技スポーツ振興事業、武道教室開催業務委託 ○各実行委員会負担金等 17,000千円 ○イーハトーブレディース駅伝大会、イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会、 ○県南広域圏スポーツ等連携事業の実施 ○各種大会開催補助金の交付 273千円 ○その他経費 722千円 						
市民参画の有無							
市民協働の形態	共催	<input checked="" type="checkbox"/>	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛		
		<input type="checkbox"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	委託		
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05	
1	児童・生徒による県大会以上出場補助件数	件	計画	101.00	101.00		
			実績	114.00	124.00		
2	高校生一般の全国大会出場補助件数	件	計画	7.00	7.00		
			実績	12.00	23.00		
3	イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会参加者数	人	計画	3,500.00	1,000.00		
			実績	0.00	0.00		
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05	
1	競技大会出場事業補助金を交付した岩手県大会以上の優勝件数	件	目標	25.00	25.00		
			実績	21.00	26.00		
2	市民スポーツ大会参加延べ人数	人	目標	6,000.00	6,000.00		
			実績	2,339.00	3,168.00		
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度			目標値より高い		概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/>	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
<p>昨年度は引き続き新型コロナウイルス感染症拡大状況下にあったが、徹底した感染対策により各種競技大会の多くが再開され、練習の成果が発揮され県大会以上の優勝件数は増加した。市民スポーツ大会は、前年度と比べ大会数は多くが再開され参加者数は増加したが、通常規模までは至らず目標は下回った。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	競技人口の減少が懸念されており、市民のスポーツに対する関心と意欲を高めるため、競技スポーツに取り組む環境づくりや競技力の向上が求められる。
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	スポーツ競技団体の指導者養成講習会や実技指導講習会を支援し、練習環境の改善を図る。さらに、市内小学生を対象としたキッズアスリート育成事業の実施により、県以上の大会への出場機会の増加や優勝数の増加を目指す。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	競技力の向上や全国大会等への出場を目指してもらおうさらなる支援等が必要にある。なお、すでに最低限の経費で事業を行っているため、削減の余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民のスポーツに対する関心と意欲を高めるためにも、競技スポーツに取り組む環境づくりや競技力の向上が求められている。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価	今年度の振り返り	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大状況により年度当初のイーハトーブ花巻ハーフマラソンは中止となったが、県大会以上の各種スポーツ競技大会は無観客など十分な感染対策を講じたうえで開催が再開され、出場件数や優勝件数はいずれも増加した。市民スポーツ大会も感染症対策により再開となった競技種目が多く、参加者は減少したものの、通常開催に近い状態となってきている。
	次年度に向けて	次年度の競技スポーツの支援に当たっては、国から新型コロナウイルス感染対策の緩和が示されており、通常規模でのスポーツイベントや各種競技大会の開催が期待され、補助金等の交付により出場者や主催団体の負担軽減を図っていく。また、制限が緩和され通常開催となっていくことを想定し、大会運営の支援体制を講じていく必要がある。